

## 口は健康のもと Vol.152

### お孫さんの歯ならびでお困りではないでしょうか？

『最近の子どもは、欧米食の影響であごの発育が少ない』とされています。その一方で、歯の大きさは遺伝的に受け継がれ、昔から変化がありません。また、指しゃぶりや爪を噛むなどの癖がある子どもは噛み合わせに悪影響があります。このような様々な要因で、現代の子どもは歯ならびが悪くなる傾向にあります。

さて、歯ならびの影響についてですが、歯ならびが悪いと食べ物をうまく噛むことが出来ないだけでなく、噛みがきがしにくいために虫歯や、将来、歯周病というあごの骨が溶けてしまう病気になる可能性が増えてしまいます。さらに、野球やサッカーなどスポーツをされている子どもは歯ならびの影響でうまく力を発揮できないこともスポーツ歯学の分野で研究されています。

そこで、お孫さんのお口を健康的な歯ならびに改善してあげることで健やかな成長が期待できます。もし、『どこに行ったら良いか？』『何歳頃相談にいったら良いか？』など、お困りなら、お近くの矯正歯科に相談してみてもいかがでしょうか。矯正歯科医から適切なアドバイスがあると思います。（次回は、『お孫さんの歯をけがから守るためにできること』についてご説明します。）



奥羽大学歯学部附属病院

矯正歯科 講師 川鍋 仁

